

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272400631		
法人名	有限会社福祉の里		
事業所名	グループホーム福祉の里		
所在地 (電話番号)	〒037-0205 青森県五所川原市金木町中柏木字鎧石342番地2 (電話) 0173-52-2123		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 3日	評価確定日	平成 19年 10月 31日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・(平成) 15年 7月 11日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(8月 9日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢 平均	81 歳	最低	64 歳
		最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	健生五所川原診療所・西北中央病院・公立金木病院・津島歯科医院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者の生活歴を参考に家庭的な雰囲気を重要視して、管理者と介護支援専門員が中心に活気あるケアの取り組みをしている。入所者一人一人を細かく見てケアプランに組み入れ実践する事で職員も安心して働いている状況を感じた。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回パンフレットの作成をアドバイスされ、早速作成し、活用している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者、介護支援専門員が評価事業を十分理解しており、サービス提供等の課題解決について専門職として勉強会を開催するなど、常に知識や技術の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>特に審議事項はないが、日々のサービス内容の報告、ボランティア受け入れ状況の報告などを行っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会来訪時に意見、要望を聞きケアプランに生かしその後の状況をきちんと報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営者が地域の太いパイプ役として地域交流の下地が十分に出来ているので、お互いが行事の際に行き来できる雰囲気やグループホームを理解してもらえる環境が整いつつある。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしい暮らしと地域との交流について謳った独自の理念を持っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は2カ所に張られ職員は目にしているが一部の職員は余り意識していない。		月一回のケア会議や毎日のミーティングなどで、理念の共有に努める事が望まれる。さらに共有を図るため具体的に掘り下げ、ケアの実践に結びついた取り組みになるよう今後に期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩や買い物の中には、地域の方と気軽に声をかけあっている。		地域の行事などに参加したり、地域の中のグループホームとして利用者が一緒に交流出来る場面をつくるなど環境を整える事が望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価は職員にも理解されている。アドバイスを受けたパンフレット作成は実行してサービス改善に繋がっている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2カ月に1回実施している。管理者はグループホームのサービスを地域の方々、市町村担当者の方に理解して頂く努力がみられる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村の関わりは運営会議以外にもサービス提供に関して助言を受けサービスの質の向上に努力されている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は権利擁護事業や成年後見人制度の研修を受け、職員に伝達している。</p>		<p>さらに学びを深め、家族にも理解して頂き、利用必要時には支援出来る事が望ましい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃の観察を密にし、管理者は常に虐待のないケアに取り組んでいる。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時や退所時には運営規程に沿って説明し理解されていた。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族が月一回利用料の支払いと面会に来訪される際に入所生活状況と金銭管理の報告をしている。		特に金銭管理は出納簿をつけ領収書と一緒に家族の捺印を頂き確認することが望まれる。来訪出来ない家族にはコピーを送付するなど確認を取っておくことが望ましい。
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、要望等は来訪時や運営推進会議に参加した時に聞いて、ケアに活かしている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1ユニットなので職員の異動は無いが、退職後の採用時には入所者、家族に紹介している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケア会議の後、管理者と介護支援専門員が中心に専門職としての知識、技術の向上を目的に勉強会をして、職員は安心して日頃のケアに生かしている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域、近隣には同業施設はないが、会議、研修に参加し、人脈を広げ電話でのやりとりを重ね交流している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時に家族の意見を聞き、本人の意志を中心に徐徐になじんで頂く支援をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入所者の機能に応じて、手すりの拭き掃除や椅子に座りながらの野菜の皮むきなど出来る事を一緒に行い支援している。		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活習慣に出来るだけ近づけるよう、食事の希望や意見を取り入れ支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケア計画は職員、家族から情報を得て立案し、実践に於いては家族のカンファレンス参加を呼びかけ意見を頂き支援している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は職員から意見を聞き、介護支援専門員が中心に評価をし、随時見直しをして現状にあった計画で支援している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設周辺は交通量も少なく、敷地も広い事から、散歩や医療機関受診後ショッピングなど、家族の希望を取り入れ柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の要望を聞き、かかりつけ医の受診や相談をしながら支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期に向けては、早い時期からかかりつけ医と相談し、家族の要望に添う支援をしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーの保護には職員はさりげなく気配りをしている。</p>		<p>面会時の記録用紙、居室ドアの大きな名前などに個人情報保護を考慮する為の配慮が望ましい。認知能力は低下していく事を考慮して今から自分の部屋が分かる工夫をしていく支援が望まれる。</p>
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入所者一人一人の生活パターンに合わせ、朝食時間を考慮し又カラオケの時の音量、曲目の希望を取り入れて支援している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入所者と一緒の食事準備はみられなかったが、職員も一緒の食事をする事で食材の話しをし楽しい食事雰囲気をつくり支援している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴拒否する方には週二回の入浴を習慣づける支援をしている。失禁したときも直ぐシャワーや入浴ができる体制を整え支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴に合わせて、洗濯ものたたみや掃除、食器ふきなど一緒に出来ることの支援をしている。またカラオケは人気があり毎日実施している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物、菜園の生育状況の観察など、会話の弾む支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者はじめ職員は身体拘束禁止について正しく理解している。重要事項説明書の中にも記載があり、家族にも理解されている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関に鍵をかけない生活を支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は年二回実施し、消防署員には年一回協力いただいている。		施設内の訓練だけでなく、時には地域の方にも参加を求め、地域の方による入所者の援助の方法などを含めた訓練も視野におく事が望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事摂取状況、水分補給状況を把握し、適切に支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入所者は家族同意のもと全員に、また全職員に対してインフルエンザ予防接種を施行している。感染予防マニュアルもあり、特に手指消毒とうがいに注意をしている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設は静かな環境にある。玄関の回りには畑やプランターがあり、花がきれいに植えられ手入れされている。共用空間は大きなテレビとゆっくり見られるようソファがあり、音量や遮光も適切に配慮されている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は個室で10畳程でゆったりはできる。		広すぎる感じもある。もう少し生活感がある事が望ましく、テーブルや本人の好きな絵、花など置けるスペースもあるので、本人の希望を取り入れ、工夫をされてみてはどうか。

 は、重点項目。